

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail )

(FAX )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:高齢者の交流の場所について

内容:第1節(P.37～)

アンケートを拝見すると、高齢者の交流の場所が身近な場所に求められている。

それは、気軽に集まれる場所であり、そこには、サポートしてくれる人が常駐しているイメージである。

にも関わらず、老人福祉センターが4から3に減少するということはどういうことか。

老人憩の家も「荒川荘」が第2中央生涯学習センターに機能移転という説明があるが実質なくなるということである。

これでは、アンケートにある声が反映されていないと思う。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

アンケートの問39「老人福祉センターの今後の見直しについて」では、老人福祉センターの今後のあり方を質問しています。

「高齢者の交流の場として、現状のまま継続すべき」が23.0%と最も高く、委員の御指摘のとおり、身近な交流の場を求める市民の声が数字にも表れております。

一方で、「廃館とし、財源を健康増進・社会参加・生活支援など、より多くの方に届くサービスに転換すべき」が18.5%、「他の施設へ機能の一部を移転し、集約化や複合化を図るべき」が17.8%と、合計36.3%の人が、施設の見直しや機能転換を求めています。

老人福祉センターの見直しにあたっては、こうした市民の多様な意見を踏まえ、検討を進めているところでございます。

荒川荘の第2中央生涯学習センターへの機能移転につきましても、施設がなくなるのではなく、より多くの方が利用しやすい施設の中に機能を引き継ぐことで、交流の場としての役割を継続していく考えでございます。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様にご共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名: 公民館について

内容: 第3節(P.45)

公民館における各種講座の開催魅力ある講座や様々な分野の学習機会を提供するとあるが、回数や参加者は年々増えている。今後、公民館の在り方が変わっていくようだが、支援体制はどのように変化していくのか。目標値を増やしていいのか。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

御指摘のとおり、公民館における各種講座の回数や参加者数は年々増加しております。

公民館の在り方の見直しについてですが、公民館は集約、再編される予定ですが、既存の公民館は地域会館として引き続き開館いたします。そのため、施設そのものがなくなるわけではなく、地域会館においても公民館活動として各種講座を継続して開催できる見込みでございます。

目標値につきましても、施設数が減少する一方で開催できる拠点は引き続き確保されることから、講座の回数や参加者数の目標値を増やす方向で設定することは可能と考えております。委員のご指摘を踏まえ、市民の学習意欲に応えられるよう、前向きに目標値の設定を検討してまいります。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名: 高齢難聴者への支援としての補聴器購入補助について

内容:

「重点課題2 孤立を防ぎ、支援が必要な高齢者を早期に把握し支援につなぐ体制づくり」を考えたとき、高齢難聴者への支援として補聴器購入補助を入れるべきではないか。アンケートでも、「購入助成制度が開始されれば購入したいかに43.4%が購入したいとしている。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

今回のアンケートにおいて、「今後助成が開始されれば購入したい」が43.4%という結果が示されました。これは、補聴器の必要性を感じながらも、高額な費用が購入の障壁となっている高齢者が一定数存在することを示しており、重要な実態として受け止めております。

一方で「必要ない」も42.1%と拮抗していることから、ニーズの把握と制度設計の両面でさらなる検討が必要と考えます。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様にご共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:

内容: 第4節(P.48～)

短期集中予防訪問型サービス

利用件数が3年間1であり、令和8年度が2の見込みとある。訪問型、通所型再ビスとけた違いであるが、その理由は、5年後の目標を5としているのはこれまでと同様の取り組み内容だからか。

短期集中予防通所型サービスについては実施を検討するとあるが、その内容は。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

①短期集中予防訪問型サービスは、現在、介護保険の要支援認定者又は基本チェックリストにより事業対象者となった市民の方のうち、地域ケア会議において利用が必要と判断された方であること、また、専門職の十分な確保が困難である等サービス提供体制が十分でないことなどから、件数が少なくなっています。

②訪問型における対象者の選定プロセスは同様という考え方の下で、対象者地域包括支援センターや専門職との協議を重ねていくことで、年間1人程度増やしていくことを目標値としているためです。

③通所型は、1つの施設で複数の利用者に対応でき、また、元気体操などの通いの場へ自然に移行しやすいことや、高齢者の孤立予防が期待できると思われます。具体的な内容については、今後の検討課題ですが、他自治体において、老健や特養で働いている専門職の方を活用しながら通所型の短期集中予防サービスを追加で開始している施設もありますので、そのような事例を参考にしたいと考えています。しかし、一方で、通所型サービスを途中で休止する施設も見受けられ、事業の継続体制における課題もあると考えられます。そこで、熊谷市としては、今後、施設の受入体制や採算性への配慮をしながら、実施の可能性について研究していきたいと考えています。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:

内容:

高齢者への熱中症対策

熱中症予防グッズの配布は単身高齢者のみか。「配布数が伸び悩んでいるから単身高齢者台帳の登録数を増やす」という意味が分からない。

単身高齢者とは何歳からか。80代で2人暮らしというような方は対象にならないのか。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

熱中症予防グッズの配布は、民生委員が台帳登録者を夏期に訪問する際に合わせて行う仕組みとして活用しており、単身高齢者台帳への登録者が対象となっています。

表現が分かりにくく、誤解を招いてしまいました。

今回の説明資料のタイトルを「高齢者への熱中症対策」としたため、「配布数が伸び悩んでいる」という記載が、熱中症予防グッズそのものの配布数が目標に達していないかのような印象を与えてしまいました。

本文の趣旨は、熱中症予防グッズは単身高齢者台帳の登録者に配布しており、夏季の深刻な暑さが問題となる中、台帳への登録が伸び悩んでいることで、支援が届いていない単身高齢者が多くいる状況にあります。

そのため、台帳登録を積極的に促すことで、見守りとあわせて熱中症予防グッズを届ける対象を広げたいという趣旨です。

「配布数が伸び悩んでいる」という表現は、「台帳登録者数が伸び悩んでいるため、支援が届いていない単身高齢者が多い」ということを指していました。

表現をより正確に書き直すとすれば、以下ようになります。

「夏季の深刻な暑さが問題となる中、単身高齢者台帳への登録が伸び悩んでおり、熱中症予防グッズが届いていない単身高齢者が多くいる状況にあります。そのため、民生委員児童委員協議会等を通じ、台帳への登録を積極的に促します。」

単身高齢者は、65歳以上が対象です。生活実態が一人暮らしであることが必須条件のため、80代であっても2人暮らしの場合は、現行の単身高齢者台帳への登録対象にはなりません。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:各種事業について

内容:第2章 第1節(P.62～)

①(1)は、一人暮らし高齢者等とあるが「等」の中にどのような方が含まれるのか。「等」の内容について記載しないのか。

②あんしんコール事業の現在の対象となる条件、必要に応じて対象者の拡大も検討する、とあるが具体的に検討している内容は、あれば、そのことを記載しないのか。

③紙おむつ給付事業への補助については、これまでの対象者要介護4、5だけでなく、補助額を増やして要介護3も含むなど拡大するようにすべきではないか。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

①「一人暮らし高齢者等」の「等」につきましては、各事業によって対象となる方の条件が異なっております。例えば、一人暮らし高齢者以外でも、高齢夫婦のみの世帯や、寝たきり状態の方など、一人暮らし高齢者に準じた状況にある方々が含まれております。

本計画に記載している事業は、熊谷市が実施している複数の事業をまとめて掲載しており、事業ごとに対象者の条件が細かく異なるため、計画本文の中でそれぞれの対象条件を個別に記載することが難しい状況でございます。そのため、基本的には一人暮らし高齢者を主な対象としつつ、各事業の条件に応じた方々を幅広く含む趣旨で「等」という表現を用いております。

②素案の末尾に「必要に応じ対象者の拡大も検討します」と記載しておりましたが、この表現は既に検討済みの内容が反映される前の古い記載であり、誤りでした。

具体的には、令和7年度から固定電話回線がない方でも、要綱等の要件を満たせば機器の設置が可能となるよう、無線型機器の導入を決定しています。

③紙おむつ給付事業は、熊谷市社会福祉協議会が実施主体となり、要介護4または5に認定された在宅の方を対象に紙おむつを支給しており、市がその経費の85%を補助しています。

対象拡大・補助額増額については、要介護3の在宅者への給付拡大で年間約4,500万円の追加費用が見込まれるなど財政負担が大きく、また本事業は所得要件や利用者負担を設けていないことから、現時点では補助金を増額する考えはありません。

引き続き、現行制度の周知徹底を図るとともに、対象者の拡大については近隣市の状況や本市の財政状況等を踏まえながら検討課題として認識してまいります。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:災害時の支援体制

内容:第3章 第1節(P.90～)

①避難行動要支援者への支援では、同意者数と同意者の個別計画策率と比較すると50%に現在なっていない。50%にするためには周知・啓発で進んでいくのか。

②自主防災組織への支援の項で、自主防災組織率と併せて自主防災組織数を入れたほうが良いのでは。訓練実施数との比較ができる。

③令和7年度から始めた防災ラジオの周知や普及について目標値を具体的に示さないのか。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

①現在の個別計画策定については、自身が記入して提出することになっているが、今後策定率を上げるために福祉専門職と連携し、作成に関する委託料を支払っていることを周知し、策定率を上げていきたいと考えています。

②危機管理課が担当課になるので、担当課と協議したいと思います。

③危機管理課が担当課になるので、担当課と協議したいと思います。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:側溝蓋掛けについて

内容:第2節(P.95～ )

側溝蓋掛けの計画的な実施とあるが、要望が出た場合に計画するのか、高齢者だけでなく地域住民が使うであろう側溝について高齢社会対策計画の中に組み込んである理由は。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

側溝蓋掛けの実施方法についてですが、維持課に確認したところ、地域住民等から要望があった箇所を把握したうえで、計画的に蓋掛けを実施しているとのことでございます。

次に、高齢社会対策計画に側溝蓋掛けを盛り込んでいる理由についてですが、委員のご指摘のとおり、側溝蓋掛けは高齢者だけでなく、地域住民全体が利用する生活環境の整備に関わるものでございます。

本計画の95ページに掲げるノーマライゼーションの理念、すなわち「高齢者や障がいのある方も含め、すべての人が地域の中で分け隔てなく普通の生活を送ることができる社会の実現」という考え方に基づき、高齢者が安全・安心に外出できる生活環境の整備として本計画に位置付けております。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様にも共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.26

## 御意見・御質問

件名:移動支援

内容:

交通手段の確保については、多くの方がアンケートに記している。免許証を返納した後、歩行がづらくなってきてからの移動手段、または、すでに交通不便地域に住んでいる方からの移動手段についての不安が多く出されていた。具体的にはタクシー券やデマンド型タクシー、要介護タクシー券等への実現・拡充が求められている。要介護高齢者福祉タクシー券については、現在の制度の理解が十分なのかも疑問である。

施策の方向の中に、「タクシー券の拡充の検討」「デマンドバス(タクシー)の拡大・充実」を入れ込むべきではないか。「重点課題4 外出・移動・買い物・住まいなど日常生活を支える基盤の充実」に対応していない。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

アンケートの定量的な結果では、移動手段について現時点では不便を感じていないとの回答が多数を占めておりました。

しかしながら、自由記載欄には、

- ・バス停まで歩いていけない。
- ・免許返納後の買い物・通院手段がない。
- ・循環バスでは目的地まで時間がかかりすぎる。
- ・安価で利用できるデマンド型の移動手段がほしい。

など、切実な声が寄せられていることも事実でございます。

委員のご指摘のとおり、現在は不便を感じていない方であっても、今後の高齢化の進行や免許返納の増加を見据えると、移動手段の確保は待ったなしの課題であると認識しております。

今後、交通施策を所管する部署とも連携しながら検討していきたいと思っております。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名:成果指標(KPI)が弱い

内容:成果指標を「実施件数」から「市民の成果」へ充実できないか。

現在は

- \* サポーター人数
- \* バス利用者数
- \* オレンジカフェ数

など、「実施した量」ばかりです。

しかし本当に知りたいのは

- \* 認知症の早期診断率
- \* 要介護重度化防止率
- \* 在宅生活継続率
- \* 健康寿命
- \* 家族介護負担軽減
- \* 本人満足度

です。

これはぜひ追加したいです。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

御指摘のとおり、現在の指標は「実施した量(アウトプット)」が中心となっており、市民生活の実質的な改善を示すアウトカム指標が不足している点は、私どもも課題として認識しております。

アウトカム指標は、計画の実効性を高めるうえで非常に重要であると考えます。

一方で、これらの指標の中には、データの収集方法や測定頻度の設定が難しいものも含まれております。

まずは、測定可能なものから段階的に導入することを検討してまいります。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名: AI・DX活用

内容: AI・DXを活用した見守りや認知症予測、介護予防の導入を検討できないか。  
 ここが最も弱い部分です。

現在は

- \* ホームページ
- \* チェックサイト
- \* デジタル講習

程度です。

今後は

- \* AIによるフレイル予測
- \* AI見守り
- \* AI相談
- \* ビッグデータ分析
- \* GPS・IoT見守り
- \* オンライン家族相談

まで視野に入れるべきです。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

現在の計画では、ホームページの活用やデジタル講習など、基礎的なDX対応にとどまっている点は御指摘のとおりでございます。

AIによるフレイル予測・AI見守り・ビッグデータ分析・GPS・IoT見守り・オンライン家族相談など、委員からご提案いただいた取組は、今後の高齢社会対策において非常に有効な手段であると認識しております。

ただし、これらの導入にあたっては、個人情報保護、プライバシーへの配慮、デジタルデバインドへの対応(ITに不慣れた高齢者への支援)、導入コストと財源の確保といった課題も伴います。

国や他自治体の先進事例を参考にしながら、今後本市における導入可能性を検討してまいりたいと思います。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名:2040年問題の備え

内容:2040年を見据えた介護人材確保・独居高齢者対策を計画へ明記できないか。

2040年には

- \* 団塊ジュニア高齢化
- \* 介護人材不足
- \* 独居高齢者急増

が予測されています。

しかし、具体的なロードマップがありません。

「いつまでに」「どこまで」が見えません。この基本計画には入れる必要ない?とは思えません。必ず中長期を見据え、現在の基本方針、目標、施工計画があるべきと考えます。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

2040年に向けた課題認識については、委員の御指摘のとおりであり、団塊ジュニア世代の高齢化・介護人材不足・独居高齢者の急増は、本市においても重要かつ喫緊の課題であると認識しております。

本計画は、老人福祉法に基づき、3年を1期とする計画として策定するものです。3年ごとの見直しの際に、その時点での将来推計を踏まえた対応策を検討することは大切だと思いますので、介護保険事業の保険者である大里広域市町村圏組合と連携を取りながら、検討していきたいと思っております。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名:熊谷らしさ

内容:熊谷市の地域特性である猛暑対策を、高齢社会対策としてさらに強化できないか。  
熊谷は日本有数の暑い街です。

高齢者には、熱中症、外出控え、孤立、フレイルが直結します。

しかし、高齢社会計画としての猛暑対策は弱い印象です。

例えば、

- \* クーリングシェルター
- \* 高齢者見守り訪問
- \* AI熱中症予測
- \* 外出支援

などをもっと打ち出してもよいと思います。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

熊谷市が日本有数の猛暑の地であることは、高齢社会対策においても非常に重要な地域特性でございます。  
委員のご指摘のとおり、猛暑と高齢者の

- ・熱中症リスク
- ・外出控えによる孤立
- ・フレイルの進行

は、直結する課題であり、熊谷市ならではの対策として、より強く打ち出すべきというご意見はもったものであると考えます。

クーリングシェルターの活用・高齢者への見守り訪問・外出支援など、猛暑対策を高齢社会対策として明確に位置付けることについて、関係部署とも連携しながら検討してまいります。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名: 本人参加

内容: 認知症本人や家族が、計画の評価・改善に継続的に参画できる仕組みを設けられないか。

国の認知症基本法では、「本人参画」が重要です。

計画にも書かれていますが、実際には本人会議、本人委員、共同政策づくりまで踏み込めるとさらに良くなるはずで

す。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

国の認知症基本法においても「本人参画」は重要な柱として位置付けられており、計画にもその趣旨を記載しております。

委員から御提案いただいた

- ・本人会議の開催
- ・本人委員としての参画
- ・共同での政策づくり

については、計画の評価・改善プロセスへの本人参画として、非常に先進的かつ重要な取組であると認識しております。

今後、本人の声を聞く場の充実を考慮しながら、具体的事業について検討していきたいと思ひます。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。

熊谷市長寿いきがい課 宛

(E-mail: )

(FAX: )

## 高齢社会対策基本計画策定に関する御意見・御質問

委員氏名

提出日

R8.7.27

## 御意見・御質問

件名:PDCA

内容:

進行管理について「見直します」とは書かれています。  
しかし、何をいつ誰が評価するかが曖昧です。

例えば、毎年

- \* KPI評価
- \* 市民アンケート
- \* 外部評価
- \* 審議会報告

まで書くと非常に強い計画になると思います。

確認したい！

今までの歴代の基本計画に、市民アンケート、審議会報告以外、具体的なアウトカム指標KPIなど設定されず定期的に評価、改善されていないのでは？？

ここを少し具体的に掘り下げると、成果指標、KPIはありますが、多くが〇回、〇人、〇件です。

本当に知りたいのは

- \* 健康寿命
- \* フレイル改善率
- \* 孤立減少率
- \* 要介護認定率
- \* 在宅継続率
- \* ACP実施率
- \* 認知症本人満足度

こうしたアウトカム指標です。

## &lt;事務局使用欄&gt;

事務局受付日

R8.7.27

## 事務局の回答や対応方針等

「見直します」という記載にとどまり、何をいつ誰が評価するかが曖昧とのこと、御指摘のとおりです。  
委員から御指摘をいただいた評価方法や成果指標について研究し、評価や改善の仕組みを計画に明記できるよう検討してまいります。

※いただいた御意見・御質問は、委員様氏名や提出日を記載して、全委員の皆様に共有させていただきます。